



## 先月の山行

- ☆ 7月30日 (土~日) 火打山 山行報告参照
- ☆ 8月11日 (祝) 三方岩岳 山行報告参照
- ☆ 28日 (日) 三峰山一乗谷 山行報告参照

## 9月の予定

- ★ 8日 (木) 例会
- ☆ 11日 (日) 岩ごもり山縦走 in 敦賀  
[Redacted]
- ☆ 25日 (日) 武奈ヶ岳 「琵琶湖」 6時  
[Redacted]

## 10月の予定

- ★ 13日 (木) 例会
- ☆ 16日 (日) 称名滝  
CL 宮本重信
- ☆ 30日 (日) 倉ヶ岳 獅子吼高原  
CL

## 山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。  
(都合により例会に出席できないが、山行込みをしたい場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

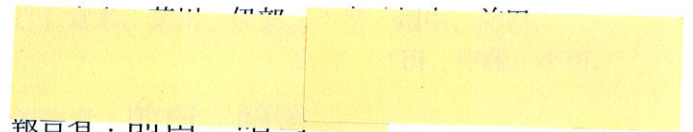
## 山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

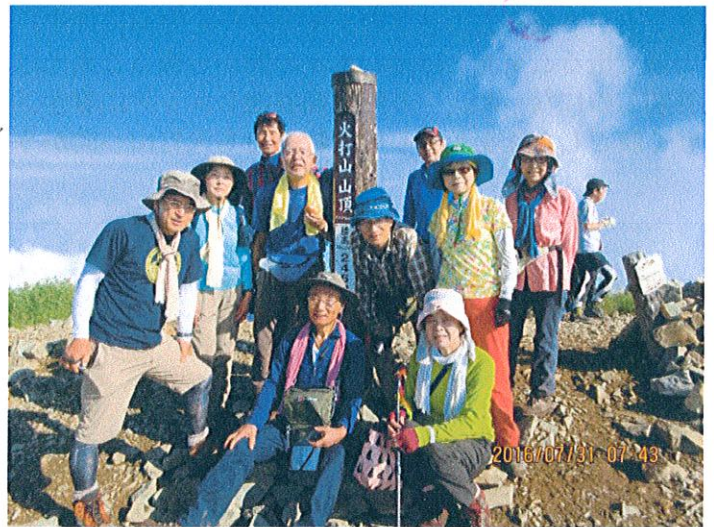
山行報告 (1泊2日)

妙高山 (2454m)・火打山 (2462m)

2016. 7. 30 (土) ~ 7. 31 (日)



報告日：前山 報告

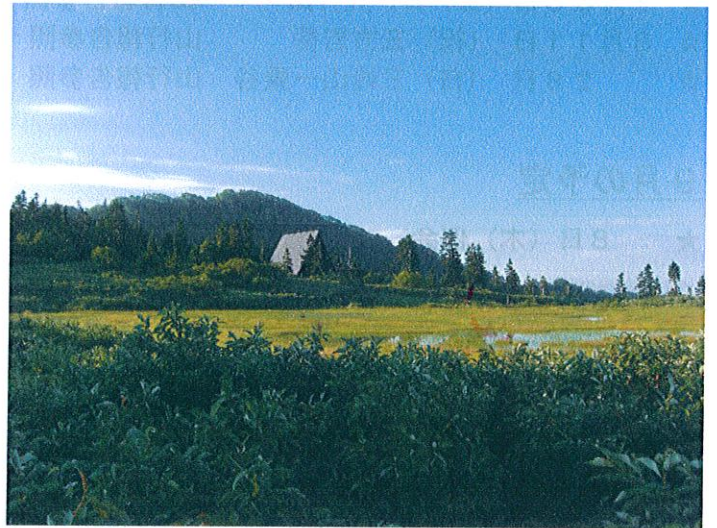


7月30日 (土) 4:30分、集合場所の建設技術研究センターを出発 (出発時の福井の空は三日月が出て晴れていた) 一路、目的地の笹ヶ峰登山口へ向けて車2台でひた走る、北陸道から上信越道に入り妙高に近づくころ雨がパラパラと降り始めた、山の天候は大気不安定の兆候が見え始める。9時前、登山口に到着し、準備し9:08分笹ヶ峰登山口より登山開始→黒沢→十二曲がりを超え富士見平近くまで来たころ突然雨が激しく降り始め、登山道はたちまち水たまりができぬかるみで非常に歩きにくい、黒沢池付近で雨も上がり12:30分頃黒沢池ヒュッテに到着し宿泊手続きをする、荷物を片付けると14時近くになっている。妙高山山頂までの往復は4時間余りかかるし、食事時間が5:00からとのことで登頂はやめて雨上がりの外でテーブルを2つ並べて10人で懇親会を開く、ビール・焼酎・ウイスキーを並べて各自が持参したつまみを出し合い、大いに盛り上がる、6月に入会した私にとって皆さんと触れ合えるのは大変有り難く、貴重な時間でした。





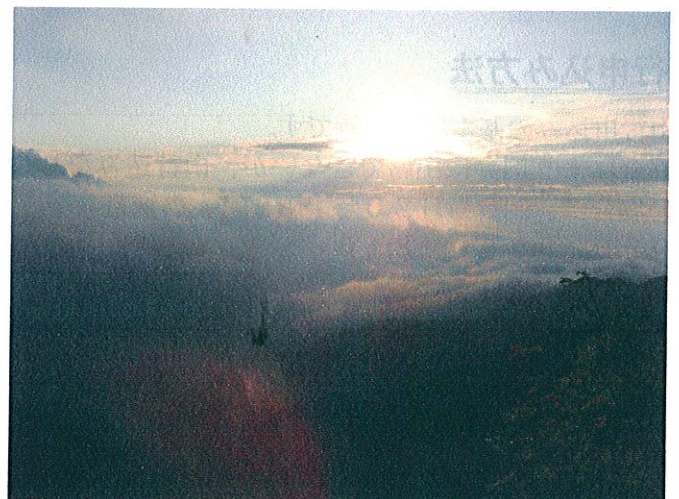
2日目は天気が回復し晴れ、4:50分黒沢池ヒュッテを出発し火打山へ向かうと5時頃茶臼山の途中でご来光が上がり始め、カメラのシャッターを懸命に押す、山頂で撮るご来光とは違い木々の間から撮るご来光は格別ものになった。6時頃高谷池ヒュッテに着き、軽く腹ごしらえをし少しの荷物を持ち火打山へ向かう



高谷池ヒュッテ



高谷池・天狗の庭の自然の大庭園から見る火打山は雄大で素晴らしく美しい山である、途中雷鳥平を過ぎ8時頃山頂に到着する。山頂からは目の前には妙高山・高妻山・戸隠山等の山々が、遠くには富士山、隣には焼山がモクモクと噴煙を上げ活動している様が見てとれる、山頂でゆっくり過ごし8:20頃下山を始める。高谷池ヒュッテで小休止をし、下山を開始→富士見平→十二曲がり→黒沢→笹ヶ峰登山口に12時頃到着し、車に乗って途中の温泉施設「苗名の湯」で汗まみれの体をさっぱりと洗い流して8月の例会を行い、福井に向けて帰路につき、17時頃集合場所に着いた。10人全員が怪我もなく元気に帰れた楽しい山旅でした。又、長距離を運転してくださった小泉さん他皆様に感謝しお礼申し上げます。「ありがとうございました」



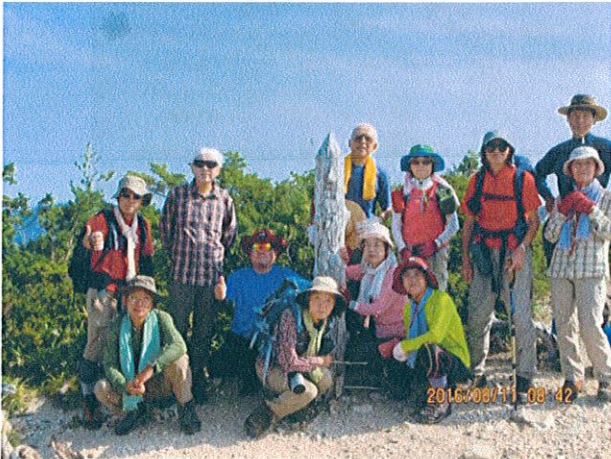
ご来光、茶臼山2171mより



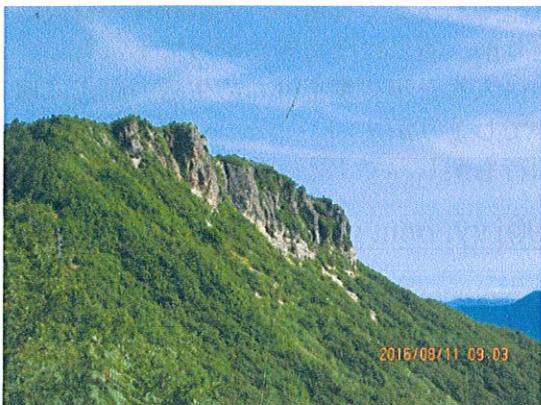
## 三方岩岳～妙法岳

平成 28 年 8 月 11 日 (山の日) 晴れ

報告者 伴藤幸枝



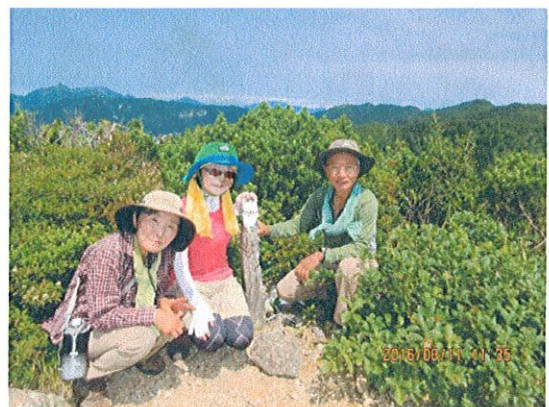
今日は今年できた祭日、山の日にちなんでの山行この日に相応しい日本列島高気圧におおわれて最高の天気。さぞかし高度も高い所ゆえ、涼しい中の稜線歩き今日は楽しく歩けるとルンルン気分。坂井グループ 3 人 Gセンターで待ち合わせ一台に乗って 勝山北谷にて福井組と合流し白山白川郷ホワイトロードに向かう。通行料金もかなり安くなり 1600 円 (以前は 3000 円位) 7 時 45 分頃登山口駐車場に着いた。紅葉の時期とは違い登山者の車があるものの空いていた。さあ出発！今日は背中のリックも少し軽いと先を行くと「少々抑えるように」と、後ろを気かけながらゆっくり前進 30 分くらいで三方岩岳に着く。景観最高 遠くに剣山、乗鞍岳、槍が岳、穂高連峰、御嶽山と雲の上に乗っかっているようだ。全員揃ってパチリ。暫らく景観を楽しみ 8 時 50 分頃三方岩岳を後に下って行く。下ったところで振り返ると軍艦型の三方岩岳がそびえるその姿に感動する。



以前 2 回くらい来ており此処の登り返しの辛かったことは覚えている。下ると多少アップダウンしながら稜線歩き、すると O さんどんどん先に行く 崖っぷちでもあり、ちょっと気を付けなければいけないので皆を確認しようと A さんより待ったがかかる。確認したうえで先に行く。赤頭山を過ぎ野谷荘司山手前まで来たところで A さんより このペースなら妙法山まで行けるからどうだと言う。妙法山は 4 時間コースだから無理だと思っていたが、O さん初めてでいけたら行きたそう その気になって来た。そこへ M さんが来て誘う 3 人で行くことになる。先の事は全然記憶にないもうせん平で給水、そこから 1 時間ほどかかる 美濃原山あたりで思い出す 前方に妙法岳 手前の急降下の登り返しと帰りも同じことの繰り返、以前も同じ思いだったことを ちょっと躊躇する。M さん先をどんどん行く。下った所まで良かった、妙法岳の途中まで登ったところでシャリバテと暑さ ボーとして気力がなくなりとても先に進めない O さんも先を行き、取りあえず食べようとおにぎりを一つ、少し休んで気を取り直し 11 時 20 分山頂にやっと着いた。

20 分ほど休んできた道を折り返す。何度もアップダウンしながら、もうせん平で M さんと休憩をとり O さんを待っていた。O さん休憩とるのかと思ったらそのまま通過 野谷荘司辺りで O さんの先にでた そのまま休憩なしで、気力で歩いた。途中足がつりそうになり、此処で動けなくなるわけにはいかないとすぐにクエン酸で対処し効き目があったようだ。三方岩岳が見えたときはほっとした。皆と合流できたが O さんなかなか来ない 大丈夫だからと振り返らなかった事に反省 足がつったそうだ。姿だけ確認しておくべきだった。記憶とは大違い暑さもあり疲れました。山頂の見晴らしを聞かれた時、やっと登って景色を楽しむことを忘れた事に気付いた。ということで無事 14 時 50 分頃、全員駐車場に着いた。帰りは新中宮温泉で汗と疲れを流した。

今回も楽しく過ごすことが出来ました 有難うございました。





## 三峯山 404. 4m 鯖江市上戸口町

立山を予定していたが、迷走台風10号等の影響で天候が安定せず、近隣の山を楽しむプランとなった。7時雪研発、一乗谷朝倉遺跡を通りぬけ鹿俣町の最深部に駐車。入山して間もなく、私達の視線と姿勢は地表に張り付くこととなる。群生する茗荷の歓待を受けたのだ！登山口から800m進むと追分地藏。林道終点はすぐそこで、大銀杏広場・三峯寺跡・三峯村跡などがある。山頂への遊歩道に入ると杉林がやがて雑木林となり、「大手」「土塁」「虎口」などと刻まれた新しい石柱が現れる。山頂の山城跡からは一乗谷が望め、河和田方面の展望も良い。

ピストンではなく谷を1～2本東側へかわすように下山し駐車場に10時到着。数分ほど福井市にもどる道沿いにある盛源寺を訪ねる。天台真盛宗に属す1492年建立の寺で、総高2.7mの地藏菩薩には1537年の銘が刻まれている。

今は無住となったこの寺の面前にある大屋敷の主が、私達のにわか現地ガイドを買って出られ、石仏は山中を中心に数千体ある事、かなりの数が盗難にあっている事などなどお話いただいた。

5分ほど移動し一乗滝へ。小次郎像の横でヤキソバをいただく。いつも美味しくいただいております。今日もありがとうございました。11時15分食事終了。みらくる亭でサッパリし、雪研13時。

私としては、入会して最短の山行時間でしたが、天気が悪いなりの次なるカードがいつも素敵で、今日も唸ってしまいました。もちろんミョウガを夕に頂き、二度唸っております。



### 「編集後記」

#### 雨水で顔を洗い、川の水で歯を磨く

山の中での話である。山を降りて日常生活に戻ると2, 3日は全てが便利で有難い。人は昨日の贅沢は今日には当たり前、明日には必要になってくるもの・・・山に入ると歩く事をはじめ生活の原点に返るのではないのでしょうかネ・・・秋からの山行も楽しみです♡

[jp](#) に送信ください。

畑中義和